

経済対策追加歳出31兆円

補正予算案 赤字国債発行22兆円

政府は26日の臨時閣議で案を決めた。一般会計の算として過去最大の35兆円が31兆5627億円を占める。財源となる歳入で2021年度補正予算追加歳出の総額は補正予算9895億円で、経済対

の不足分は22兆580億円の国債を発行してまかなう。(関連記事5面に)

補正予算案は12月6日に召集される臨時国会に提出する。与党は会期を17日までの12日間とする方針だ。岸田文雄首相は臨時閣議で「年内のできるだけ早くの補正予算成

立を目指す」と語った。歳入に税収見直しを上方修正した6兆4320億円などを計上する。不足する22兆580億円は国債で対応する。21年度の新規国債発行額は当初予算の43兆5970億

円と合わせて65兆円超まで膨らむ見通しだ。

21年度の一般会計の歳出総額は当初予算から3割増の142兆円に達する。新型コロナウイルス対応で3度の補正予算を組み、過去最大の175兆円となった20年度に次ぐ巨額歳出となる。

政府は19日に経済対策を決定した。新型コロナウイルス対策や首相が掲げる「新しい資本主義」など4つの柱で構成した。

目玉となる18歳以下への10万円相当の給付は、年内の支給開始に向け21年度予算のコロナ対応予備費から7311億円を支出する。このほか補正予算案に1兆2162億円を盛り込んだ。